

# 第1章

## 計画の概要

- 1 目的
- 2 期間
- 3 構成

「未来の光市」絵画コンクール  
市長賞



「幸せな町」

光井中学校 2年 盛田康平 さん

各章の中表紙では、「未来の光市」絵画コンクールの  
入賞作品をご紹介します。  
(学校名等は、応募時点のもの)

## 計画の概要

### 1 目的

本市は、平成19年3月に新市建設計画の理念を継承する「光市総合計画」を策定し、各種施策の推進と健全財政の確保の両立を図りつつ、計画的なまちづくりを進めてきました。前期5年間は、いわば新「光市」の創成期であり、直面する様々な政策課題を克服するための道筋を明らかにしながら、合併により誕生した本市が力強く飛躍するための基礎体力を、市民と行政が一体となって培ってきたところです。

しかし、人口減少社会の到来や少子高齢化のさらなる進展、経済情勢の急激な変化、従来からの制度や枠組みの転換など、地方を取り巻く環境は私たちの予想を上回る速度で変貌しており、地方公共団体には、時代の要請に的確に対応できるしなやかな体力と未来を展望する広い視野がこれまで以上に求められています。

こうした中、平成23年度をもって「前期基本計画」の計画期間が終了することから、その成果や「マニフェスト推進計画」に掲げる主要事業の達成状況等を踏まえつつ、新たな5年間を見据えた後期基本計画を策定します。この計画を通じて、今後、本市が取り組むべき政策の方向性や基本的な施策等を明らかにするとともに、まちづくりを担う多くの主体との適切な役割分担のもとで計画を着実に推進し、市民一人ひとりが「幸せ」や「満足」を心から実感できる「やさしさ」にあふれた光市を創造しようとするものです。

### 2 期間

基本構想の後半の5年間（平成24年度～平成28年度）を計画期間とします。

### 3 構成

後期基本計画では、計画が目指す姿やまちづくりの基本となる考え方などに加えて、計画期間内において特に重点的に取り組む政策をまとめた「未来創造プロジェクト」や、政策目標となる「ひかり未来指標」、具体的な政策や施策などを体系的に明らかにした「基本計画各論」、財政的な裏付けを行う「財政計画」、地域別の整備の方向性を示す「地域別整備計画」などで構成します。